

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



陛下は、この四月にライオンリ
 である水の研究の講演を二冊の
 本水運史から世界の水へにまとめ
 られた。

聴講している学生に
 向けてこう語っている。
 「皆さんには、本当にや
 てみたことに出会わ
 れるよう願っております。
 モンゴウの著作赤毛
 のマシの主人会アリス
 葉として曲がり角を
 曲がった先に何かある
 のかはわからない。
 でもギリギリ一番良いもの
 に近いな」と思っています。
 うものがあります。
 その先にあるもの
 が良いものは何か
 本当にやってみたい
 ことこの会合いが
 待っているという
 希望をもて、学
 生生活やその後
 の人生を歩んでい
 ただきたいと思
 います。会場は割れ
 んばかりの拍手に包
 まれた。



2019/06/22

尾張旭市全国植樹祭提供



陛下は環境問題の一つとして
 水問題を大変に重要視さ
 れており、国内においても水
 による災害の影響という
 問題意識を持たれる。
 その視点は公務にも活かせる
 と考えていると思います。
 世界が直面している地球
 温暖化を含む環境問題
 や資源問題について講演を
 行われる。
 日本も洪水を冷水玉事
 解決したり灌漑をして農業
 を豊かにしてきた歴史的な
 事例がたくさんあり、水害で
 入るが困難に直面することも
 ありますが、人や社会も豊か
 にしてきた歴史もある。
 水は環境問題や
 貧困、女性問題、
 子どもの教育の
 問題ほど世界の
 様々な問題と
 繋がっています。
 ある意味水とレン
 ズとして、色々な社
 会の課題をよく
 見ている、とあり、
 人々の幸せや社会の
 繁栄に水が貢献
 して、世界のみなちの
 幸せに繋がっていると
 研究を続けたいと思
 っています。

県警のSP

植樹の二本のサインの目印をします。



1Dカード招待状



2019/06/22